

奈良市 様

LiveOnのオンライン会議とメッセージ機能が、
感染症拡大リスクを抑えながら
職員間コミュニケーションを活性化するしくみを構築

| 利用目的 | 業種 | 社員規模 |
|-----------------------------|-----|-------------|
| 社内会議 社員研修・研修配信 社内イベント | 官公庁 | 1,000~3000名 |



奈良市役所 DX推進課 東口 弘幸 様

導入前の課題

- 会議やイベント開催時における感染症拡大の防止
- 会議時の移動時間や移動コストの抑制
- 電話に代わるより効率的な職員間コミュニケーション方法の開拓

LiveOnで解決!

- 🔌 オンラインによる非接触開催で感染症拡大リスクを低減
- 🔌 LiveOnで移動せずにいつでもどこでも会議を開催
- 🔌 メッセージ機能で業務効率を下げずに活発に意思疎通を図るしくみを構築

導入前の課題

会議における感染拡大防止と移動コスト削減が課題

新型コロナの影響で、職員が集まる会議を避けることが求められ、同時に打ち合わせのための移動時間やコストの削減、場所の調整、工数の削減なども課題となっていました。このような背景から、2020年春頃よりWeb会議システム導入の検討を始めました。

業務効率を下げることなく意思疎通を図るしくみを模索

内線電話中心のコミュニケーションでは、電話の取り次ぎなどで業務が中断し、それが集中をさまたげる要因にもなっていました。Web会議システムの仕組みを利用し、業務効率を維持しつつ、職員間の意思疎通や情報交換ができる環境を整えることで生産性向上を図る方法を模索していました。

検討の過程

ユーザビリティおよびセキュリティを重視

Web会議システム検討時のポイントは、ユーザビリティと運用の容易さ、セキュリティの3点です。さまざまな職員が扱うので特別な知識等がなくても扱えるような使い勝手が重要です。加えてシステム運用面では、既存システムに変更を加えなくてもユーザー情報の連携ができ、運用負荷を下げるのが条件。そしてセキュリティ面では、庁内の閉じたネットワーク環境で安全に利用できるように、オンプレミス型のサービスであることが必要でした。

マニュアルレスで直感的に操作できることを評価

庁内でサーバーを構築する前提でオンプレミス型のWeb会議システムを導入すると、選択肢がいくつかに絞られました。

その中でLiveOnを評価した大きな理由の1つが、マニュアルを見なくても直感的に操作できるユーザビリティでした。

業務効率アップのためのメッセージ機能

オンプレミス型で利用できるメッセージ機能(※)がWeb会議システムLiveOnの仕組みの中で提供されていることも魅力のひとつでした。

※正式名:LiveOnプレゼンス機能

パソコンやスマホにアプリを常駐させておき、メッセージのやり取りができるチャットツールのこと。

ご活用用途

メッセージ機能で迅速かつ確実に情報伝達

メッセージ機能は、会話のような流れで、即座に相手に対して伝えたい要件を伝えられる点が非常に優れています。加えて、電話とは違いメッセージの履歴が追えるところも便利な点です。特にデータの保管場所や参照してほしいWebサイトのURLなどを迅速かつ確実に伝えることができます。

さまざまなオンライン会議・研修で活用

さまざまな規模やシーン、用途でLiveOnのオンライン会議をフル活用しています。参加者の多い研修や会議では「多人数モード」を活用することでしっかりと双方向のコミュニケーションを取ることができています。

年末年始には、本庁だけでなく出張所に勤務する管理職など180人が参加する仕事納め式、始め式をオンラインで実施しました。

災害対応ツールとしての可能性も

遠隔地も含めた大規模なイベントの実施は、信頼性の証明にもなりました。これにより、例えば大規模災害などが発生した場合に、各所の避難所と本庁間をオンライン接続して情報共有することも可能です。このような緊急時の活用も今後検討していきたいと考えています。

導入後の効果・感想

会議による感染拡大リスクや移動コストが低減

LiveOn導入後は、庁内外問わず会議は原則オンラインで実施。課題として挙げていた感染症拡大リスクや、会議のための移動に伴う時間・コスト、場所の調整のための工数は削減できているものと考えています。



メッセージ機能によって効率的な意思伝達・情報共有が可能に

また、メッセージ機能をフル活用することで、電話よりも確実で、メールよりも効率的なコミュニケーションができるようになってきています。その結果電話でのやり取りが大幅に減り、落ち着いて業務に集中できるようになりました。

さらに、テレワークの際のコミュニケーション手段としてLiveOnは必須ツールとなっています。

安全・安定なシステム環境で稼働

まず庁内ネットワークで完結しているので通信が非常に安定し、セキュリティレベルも確保したうえで安全に利用できています。また、庁内から一括で管理できるのでメンテナンスやカスタマイズがしやすく、運用負荷も少なくなっています。

LiveOnを活用した今後の事業展開など

LiveOnのより進化した使い方を開拓

当市でも、部署を超えてプロジェクト単位で業務を走らせる場合があります。今後はメッセージ機能をより進化させて、プロジェクト単位で情報管理できるような運用ができないものかと考えています。それが実現すれば容易でスムーズな情報連携が可能になるでしょう。

また、メッセージ機能については、今後さらに多くの場で活用できるようJMSに改善要望を上げています。国産自社開発メーカーの強みを生かしてぜひ実装していただき、より効果的にLiveOnを活用していきたいと考えています。

ニーズに合わせた柔軟な運用が可能になるだけでなく、より多様なシーンでWeb会議を活用できる環境を整えたいと考えています。

奈良市



奈良市
Nara City



所在地：奈良市二条大路南一丁目1番1号

職員数：2,276人(2023年4月1日現在)

面積：276.94km²

人口：351,418人(2023年1月1日現在)

世帯数：166,772世帯(同上)

市概要：1898年(明治31年)町制から市制への移行に伴い誕生した奈良市。奈良県の政治や文化、交通の中心となる県郡として発展してきた。1998年に市制100周年を迎えると共に、「古都奈良の文化財」として東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡、春日山原始林の8資産群が世界遺産に登録。世界遺産を生かしたまちづくりを進めている。

ホームページ：<https://www.city.nara.lg.jp/>



ジャパンメディアシステム株式会社
INTERNET & MULTIMEDIA SOLUTION

ジャパンメディアシステム株式会社

e-mail：liveon@jm-s.co.jp

URL：<https://www.jm-s.co.jp/>

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F
TEL：03-3252-8111 FAX：03-3252-5234

大阪支店 〒540-6122 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー22F
TEL：06-6947-6800 FAX：06-6947-6363

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-20 グリーンビル4F
TEL：052-202-1233 FAX：052-202-1088

仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通6F
TEL：022-726-5080 FAX：022-726-5075

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-78 ウエスト12ビル5F
TEL：011-206-1818 FAX：011-206-1572